



## 「ゴールテープなびかせ」

23P

声を想いを  
未来の匠発掘へ

12P

町政を問う  
新校舎どこに

8P

要望決議  
効率的な足の確保を

2P

令和6年度決算  
人件費アップ負担増



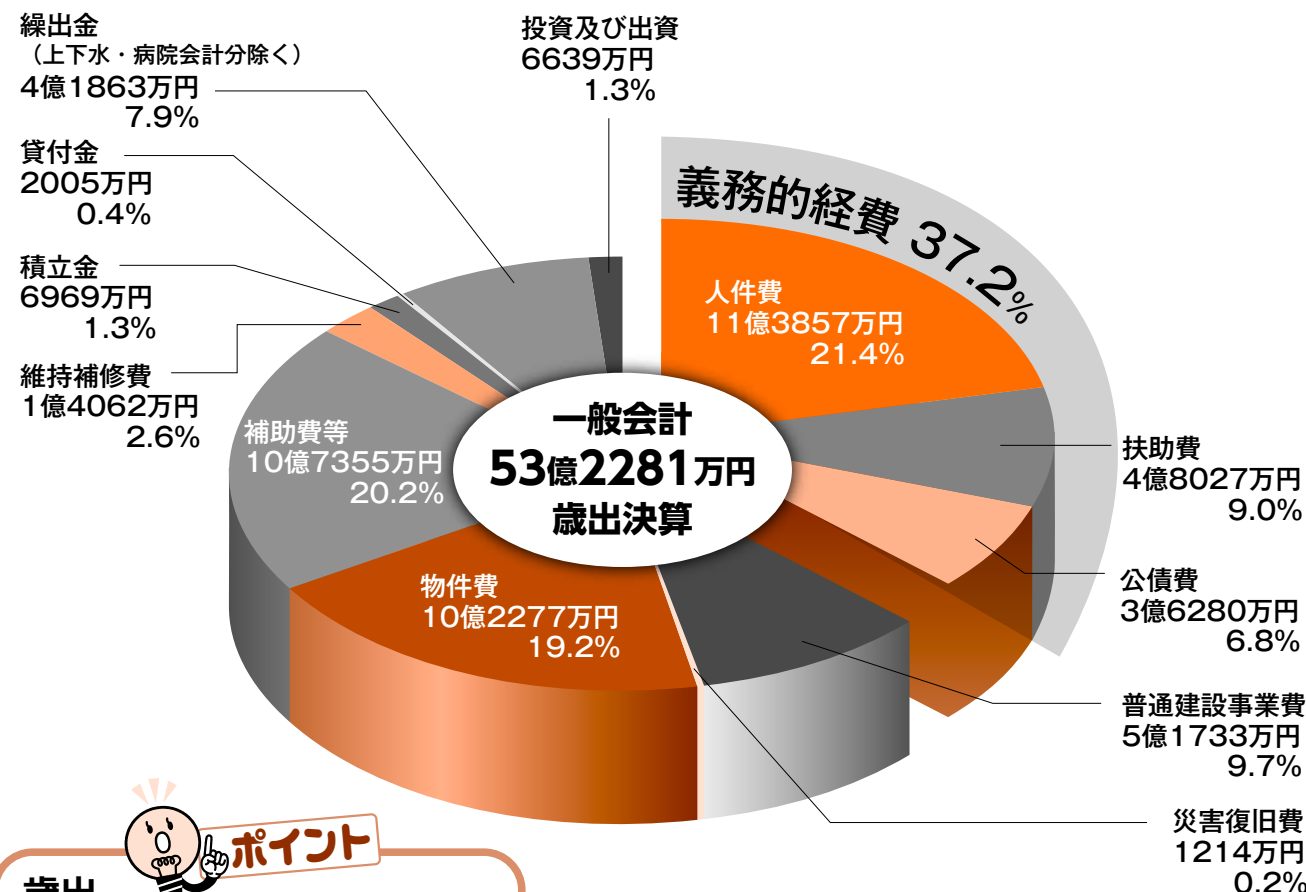


# 令和6年度 決算

9月19日に決算認定案8件が審議され、原案のとおり認定されました。決算の概要を紹介します。

## 各会計

# 人件費



### 歳出

- 💡 人件費、委託費の増加により支出増
- 💡 物価高騰により物品購入費の増

### 各会計歳出決算

一般会計	53億2281万円
国民健康保険特別会計	11億1106万円
後期高齢者医療保険特別会計	1億1841万円
介護保険特別会計	11億6890万円
温泉事業特別会計	1859万円
病院事業会計 (3条分のみ)	8億8559万円
水道事業会計 (3条分のみ)	2億4523万円
公共下水道事業会計 (3条分のみ)	5億254万円
合計	93億7313万円

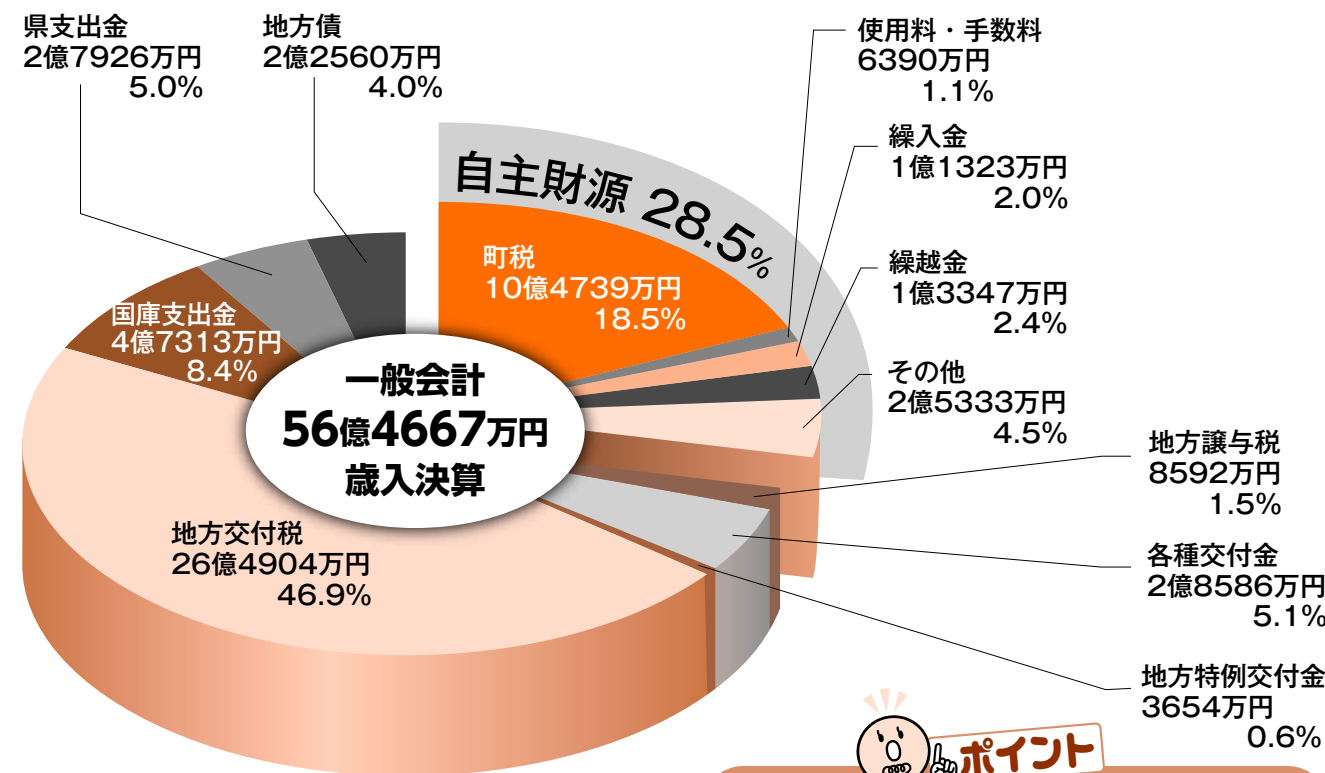
## スキー場閉鎖により 維持管理費



# 負担増

## 人事院勧告により

※人事院勧告…人事院が人材確保・育成等を目的に、国家公務員の給与水準を民間企業と比べて、必要に応じて給与改定などを勧める制度。地方公務員も準拠しているケースが一般的。



### ポイント

#### 歳入

- 💡 スキー場閉鎖に伴う地方債などが減少
- 💡 太陽光施設の稼働などによる固定資産税の増

## 物価高騰対策 商品券配布



## 有害鳥獣対策





# みんなのお金、どう使われた？

## 各会計 詳細に点検！！

### 令和6年度 決算審査特別委員会

令和6年度の各種会計決算認定は議長と議会選出監査委員を除く11名で構成する決算審査特別委員会での審査に付託されました。委員長に的場要委員、副委員長に佐藤昭光委員を選任し、9月16日から18日に審議しました。

質疑は多数ありましたが、ここではその一部を紹介します。



的場要委員長 佐藤昭光副委員長



大本 治久委員  
通学の足存続を



**問** 川崎―大河原線のミヤコーバス運行補助金は、来年9月まで交付されますが、それ以降は補助対象外になる可能性があります。今後の対応は。

**答** 広域的な地域交通の維持に対する支援を県に要望しています。今後関係機関と連携し、川崎校や各高校への生徒利用を踏まえ、路線維持に努めます。

#### ポイント

赤字が出ているミヤコーバス川崎―大河原線は、国・県の補助に加え、令和3年度から当町も負担しています。令和6年度の町負担は298万円ですが、利用者が10人以下になると補助対象外となります。

佐々木 昭雄委員  
不登校対策は



**問** 小中学校で不登校児童生徒が一定数いるという報告でした。今後の対応と取り組みを伺います。

**答** 登校したくなるような学校づくりや、教員による児童生徒の心の把握に努めています。また、学び支援教室担当と通級指導担当の教員を配置し、小学生の段階から予防的な対策に取り組んでいます。

#### ポイント

令和6年度の不登校児童生徒は、小学生が11名で前年度より微減、中学生が16名で前年度より微増となっています。学校では別室登校やケアハウス通所など個別支援を行っています。

下斗米 麻子委員

町全体での開催は



**問** 令和6年度は集会形式での敬老会が開催されませんでした。開催が困難な行政区もありますので、町全体での開催を検討してみてもいいですか。

**答** 以前は町主催で開催していましたが、参加者が2割弱と少なく、平成13年度から行政区単位で実施しています。住民などの意見を伺いながら、効率的で有意義な事業展開に努めます。

#### ポイント

敬老会は楽しみにされている一方で、参加できない高齢者への配慮や地域差が生じやすいという課題があります。コロナ禍では開催することができなかったため、足を運ぶのが面倒だと感じている住民も多くなっています。

遠藤 雅信委員

町の魅力発信



**問** 自主財源確保策として期待される企業版ふるさと納税の取組状況と今後の対応は。

**答** 令和6年度に寄付をいただいた9件のうち6件は、ふるさと納税の中間事業者を経由して受領しています。今後委託を継続しつつ、マッチングイベント等に参加し自主財源確保に努めます。

#### ポイント

令和6年度の企業版ふるさと納税は530万円で、町にとって重要な自主財源となっています。寄付は年々増えており、今後さらに町の魅力発信に努めていかなければなりません。

佐藤 清隆委員

森林管理の進捗状況は



**問** 森林経営管理制度の意向調査が進んでいます。この私有林を管理する制度に期待していますが、状況と今後の取り組みは。

**答** 新規地区の意向調査と、これまでに委託希望があった森林の管理準備を実施しています。意向調査の回答率が約50%と低調ですので、広報紙などで制度の浸透を図ります。

#### ポイント

この制度は手入れの行き届いていない森林について、自治体が森林所有者から経営管理の委託を受け、森林の管理を行うものです。財源は森林環境税が充てられます。

佐藤 昭光委員

橋の老朽化に備える



**問** 橋梁長寿命化計画に基づき補強工事が進められています。危険度の高い橋梁はその都度工事を進めています。費用負担も含め計画的に関係機関と連携・協議を進めるべきでは。

**答** 町管理の62橋を3年間で点検し、判定結果に基づき補修・設計を進めます。工事方法や費用負担は関係機関と協議しながら進めます。

#### ポイント

老朽化した橋が増えており、安全確保のためには点検や補修の計画的な実施が欠かせません。限られた財源のなかで、どの橋から優先的に整備するか判断が求められています。



高橋 義則 委員

効率的な運行を



**問** デマンドタクシーの試験運用が始まり、スクールバス、町民バスの3つの交通事業を運行しています。3つの事業の効率的な運用を図るべきでは。

**答** 子どもの数が減り、スクールバスにも余裕が出ています。通学手段を確保しつつ経費抑制をどう図るか検討し、できることから進めます。

ポイント

スクールバス、町民バス、デマンドタクシーがそれぞれ運行されていますが、ルートや利用者層が重なっている部分もあります。限られた財源のなかで、統合や連携による効率的な運行体制に見直す必要があります。

佐藤 新一郎 委員

安定的な予算確保へ



**問** 任意でのインフルエンザ予防接種助成は令和2年度から継続しています。しつかり財源を確保し、当初予算に計上すべきでは。

**答** 新型コロナウイルスや他の感染症の流行状況を見ながら判断する必要があります。補正予算で措置してきました。今後は他の予防接種事業を精査し、当初予算計上も検討します。

ポイント

当町は県内で唯一、任意接種の16～64歳に対して助成をしています。継続事業にもかかわらず費用が当初予算に計上されていないことが課題となっています。安定的に実施するためには、事業の位置付けを明確にすることが必要です。

生駒 純一 委員

地元移管の進展は



**問** 温泉事業の地元移管はこれまでさまざまな意見がありましたが、進展が見られませんか。県内で唯一自治体が直接管理している状況を改善すべきでは。

**答** 地元移管に向けてはさまざまな課題がありますので、引き続き地元温泉事業者との協議を継続していきます。

ポイント

温泉施設は維持管理費がかかる一方で利用者が伸び悩んでおり、収支のバランスが課題となっています。将来性や採算性の観点からも、運営のあり方を見直す必要があります。

眞幡 善次 委員

ニーズに応えた診療を



**問** 人口減少で外来患者も減り、川崎病院の経営が心配です。整形外科は週3回診療があり、町民ニーズは高く需要があると考えます。体制をさらに充実すべきと考えますが。

**答** 整形外科のほかに診療科目が増えてきました。病院の体制が充実してきたことを周知し、利用促進を図ります。

ポイント

整形外科は受診希望が多く収益にもつながりやすい診療科であり、病院経営の改善にも有効と考えられます。町民の利便性向上と安定した運営の両面から、診療体制の強化が求められています。

大本 治久 委員

新たなサポート



**問** 婚活事業は継続していますが、近年はマッチングアプリの利用が増えています。当町でも登録費用の助成を検討してみてもいいのでは。

**答** 県が運営する「みやまり」では200組の成婚実績があります。仙南の市町でも補助の事例がありますので、情報取収や成果を確認しながら検討します。

ポイント

若年層の出会いの場はマッチングアプリなどオンライン型に移りつつあります。実態に合った支援策へ見直すことで、効果的な少子化対策につなげる必要があります。

佐藤 昭光 委員

安定経営を目指し



**問** 川崎病院への繰り出しは3億5000万円です。人口減少等で外来患者は減少傾向にあるなか、今後も病院運営を維持していくための考えは。

**答** 町民に必要不可欠な施設です。診療科目の周知や企業に出向いてのワクチン接種で収入増加を目指すとともに、コストを意識した経営をしていきます。

ポイント

収益的収支はマイナス1610万円で、一般会計からの繰り入れは約3億5000万円（うち65%程度が地方交付税で補てん）です。安定した経営を続けるためには、収益的収支の黒字化（収入増加と経費節減）が課題とされています。

佐藤 清隆 委員

効果的な魅力発信



**問** 交付金を活用して始まったシティプロモーション事業は町単費で継続しています。費用対効果を見極める時期だと考えますが。

**答** 新聞広告や動画配信で一定の成果を得ています。今後は効果を検証し、より効果的なPRの在り方を検討しながら推進します。

ポイント

町の魅力発信に取り組んでいる一方で、費用に対して効果がどれほど出ているのかが見えにくいという課題があります。継続するのであれば、成果を検証できる体制が必要です。

高橋 義則 委員

早期実現に向けて



**問** 龍雲寺前のは場整備事業は、早くても10年後に着手との県からの説明でした。町として早期実現に向け、継続的に働きかけるべきでは。

**答** 県南サミットや市町村長会議でも要望を行ってきました。今後も関係機関へ働きかけ、早期実現に向け努力します。

ポイント

龍雲寺前のは場整備は地域から長年要望があります。国・県の予算措置が必要なため早期整備に向けた働き掛けを行うとともに、関係者の同意など採択に向けた協議が必要となります。





## 監査意見 持続可能な経営を

**歳入・歳出ともに減少**  
歳入では前年比1億908万円の減少、歳出では前年比1億9946万円減額した決算状況となりました。  
これは、財政調整基金の繰入金やスキー場閉鎖に伴う辺地対策事業債、地方債が減少したこと、国の補助金を活用した事業などの完了によることが要因でした。

**緊急時に備える**  
基金の繰入金は必要な事業にのみ活用し、着実な財源確保と計画的な負担軽減対策を講じている状況です。引き続き重要施策や災害等、緊急かつ突発的な事業に即時対応できるように財政力を備えてください。

**自主財源確保を**  
町税の徴収率は95.1%で、前年度から0.7ポイント増加しています。収入未済額は一般会計で5874万円、特別会計で6807万円と前年度よりそれぞれ減少しています。  
依然として交付税などの依存財源による財政運営を行っていることから、引き続き徴収対策の強化を図るとともに、自主財源確保、経常経費削減に努めてください。

**長期的な視点で**  
病院事業会計は、安定した病院経営を持続可能なものとしていくため、引き続き長期的な経営収支の評価を確信しながら、町民から信頼される医療サービスの提供を図ってください。

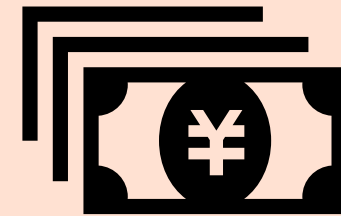
### 財政指標の状況

項目	R4	R5	R6	健全状況	指標の説明
経常収支比率	89.1%	93.4%	94.3%	悪化	財政構造の弾力性を表す指標で、この比率が高いほど経常剰余財源が少なく、財政の硬直度が進んでいることを示します。
連結実質赤字比率	赤字が発生していない			健全	標準的な収入に対する全会計の赤字割合です。
実質公債費比率	4.5%	5.4%	6.1%	健全	標準的な収入に対する、1年間で支払った借入金返済額などの割合です。
将来負担比率	数値が算定されない			健全	標準的な収入に対する将来支払う借入金返済額などの割合です。
積立金現在高比率	77.1%	77.8%	76.6%	健全	現時点及び将来にわたっての財源的な蓄えを表す指標です。
地方債現在高比率	65.0%	64.8%	59.8%	健全	将来償還すべき地方債現在高の標準財政規模に対する割合です。
財政力指数	0.300	0.300	0.320	低い傾向	財政運営の自主性の大きさを表す指標で、1に近いほど財政力が良いことを表しています。

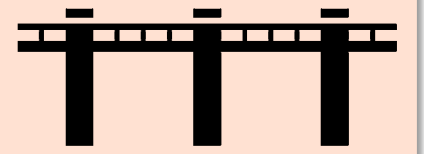
決算特別委員会・総括質疑から重要な項目を議発案として取り上げ、要望決議として提出します。



自主財源の確保は最重要課題です。企業版ふるさと納税は増加傾向にあり、大きな期待をしています。これまで以上に情報発信に努め、さらなる自主財源確保に取り組んでください。



長寿命化計画に基づき橋梁の補強工事を進めています。定期的な点検調査の判定結果によっては工事対象となる橋梁が増える可能性もあります。工事費負担も含め関係団体との連携・協議を進めて、計画的に工事を実施してください。



# 議会から町へ 要望決議

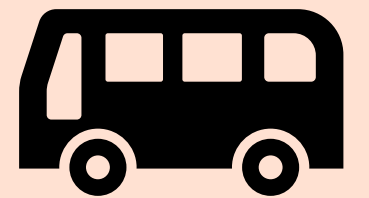
現在実施している森林環境整備意向調査は、令和9年度の支倉地区をもって一巡するようです。この事業は仙南地域のなかでも先進的に取り組まれ期待も大きいことから、引き続き推進してください。



町民にとって重要な施設である病院を維持していくため、医業収益を確保するとともに、経費の節減に努めてください。また、外来患者の増加が期待できる整形外科においては、さらに充実した診療体制となるよう取り組んでください。



今年度、「町民の足の確保」として、新たにデマンドタクシーの試験運行が始まりました。現在、町民バス・スクールバスと3つの運行事業が併用されていることとなります。先を見据え、費用対効果や効率的な運用を検討してください。





# 7月会議

会議は17日に開きました。  
提案された議案は、補正予算案1件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。

# 8月会議

会議は20日に開きました。  
提案された議案は、補正予算案1件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。  
ここではその一部を紹介いたします。

**討論**

**反対**

高橋義則議員

今回の設計委託料は高額で、算定根拠を明示し提案し直すべきであることから、補正予算案には反対します。

**賛成**

佐々木昭雄議員

これ以上遅らせることは事業者が不利になる可能性も高いことから、賛成します。

**採決**

◆賛成 9  
◆反対 3

**可決**

町長 答 何度も意見交換をして、変更を重ねています。議会とも相談していきます。

**質疑**

事業者との協議は佐藤昭光議員

問 これまでの協議で事業者はどの程度納得していますか。

250万円

## 一般会計補正予算 スキー場の窃盗被害 設計委託費

■補正内容

窃盗により被害を受けたセンターハウスの復旧を目的に、設計委託料を計上するものです。



▲キャンプ場としてスタート

## 一般会計補正予算 畜産経営者を支援

■補正内容

全国的な物価高騰を受け、畜産経営者に対する畜産飼料高騰対策支援を目的に、助成金を計上するものです。

■対象者

町内に住所を有する畜産経営者

■給付金額

・牛 5000円/頭  
・豚 3000円/頭  
・鶏 50円/羽  
※上限50万円



▲町の主産業支援のために

**可決**

# 9月会議

会議は、9日から19日に開きました。  
提案された議案は、条例改正案3件、決算認定案8件、補正予算案5件、人事案2件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。  
ここではその一部を紹介いたします。

**すべて可決**

## 人事案件

教育長(再任)



あい はら とし ひこ  
相原 稔彦 さん  
(大河原町)

任期 令和7年10月10日から  
令和10年10月9日まで  
3年間

## 一般会計補正予算

急傾斜地の間伐

550万円

■補正内容

前川字羽坂山の急傾斜地の土砂崩れ対策等応急防止措置を目的に、委託費を計上するものです。

蛙岩橋護岸を改修

1億780万円

■補正内容

建設から58年が経過している蛙岩橋(碁石地区)の橋梁補修工事に必要な護岸の整備を目的に、工事請負費を計上するものです。



▲少しでも安全な環境を

## 病院事業会計 補正予算

エアコン更新

2200万円

■補正内容

病室内のファンコイルユニット11台の更新を目的に、建設改良費を計上するものです。

**質疑**

機器の対応年数は

佐藤昭光議員

問 新しい機器は30年もつものなのか。  
病院事務長

答 耐用年数は10年、15年を想定しています。病院内には107台が設置しており、計画的に更新を進めていきます。



おく みや くにお  
大宮 國男 さん  
(前川東部)

任期 令和7年12月13日から  
令和11年12月12日まで  
4年間

教育委員(再任)





さとう しょうこう 議員  
佐藤 昭光



▲相続手続き急がないと…

## 問 現役世代の受診率向上は

## 答 病院と連携しながら

**問** 改善のために必要な働きかけは。

**答** 保健福祉課長  
未受診者への勧奨はもちろん、病院と連携しながら、広報紙やSNSなどを駆使して計画的に受診者の増加を図っています。

**問** 町を支える年代なので社会的損失が大きいと懸念されますが。

**答** 町長  
健康を損なうことは家族、地域、町全体の損失になると認識しています。



▲早期発見につながる健診

**問** 40歳から74歳までの特定健診受診率が4年続けて低下している理由は。

**答** 町長  
令和4年度の受診率は県平均よりも高い状況でしたが、コロナ禍による受診控えの影響もあったと推察しています。

## 問 相続登記義務化への対応は

## 答 支援に補助金検討も

人が亡くなった際の相続登記が罰則付きで義務化されました。3年以内に手続きが終わらないと「10万円以下の過料」が課される厳しい内容に、町はどう対応するのか伺います。

**問** 町内の所在不明の家屋や土地は、どの程度把握していますか。

**答** 町長  
連絡先が不明な場合は戸籍調査などで法定相続人を調べますが、それでも特定できない件数は、令和7年度課税分で14件です。

**問** 法改正施行後の相続登記について、町内関係では何件発生し、実際手続きした件数は何件ですか。

**答** 町長  
令和7年7月31日までの16カ月でみると、亡くなった人200人に対して、必要な相続手続きを終了したのは103人中39人です。

**問** 司法書士に相続手続きを頼む場合の手数を支援する考えは。

**答** 町長  
相続登記を補助する市町村もあります。検討しなければならぬと思っています。

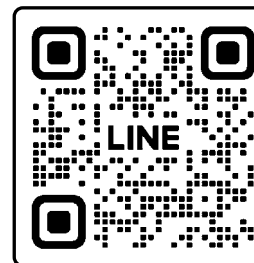
**問** 仙台市で所在不明の古い家屋を市の負担で解体しました。当町も考えては。

**答** 総務課長  
仙台市は実行に2年以上の時間をかけています。まずは所有者の確認を優先して進めたいと考えます。

## ● 議会中継スマホで見れます!!



川崎町の公式LINEに登録して町や議会の情報を受け取ろう!



ページ	質問議員	質問内容
13	佐藤 昭光 議員	(1) 相続登記の義務化 (2) 特定健診、働き盛りの実情
14	佐藤 清隆 議員	(1) 鳥獣被害対策と注意喚起を
15	下斗米麻子 議員	(1) 小中学校の読書環境整備 (2) RS ウイルス感染症
16	的場 要 議員	(1) 校舎改築構想 (2) 正しい日本地図の活用
17	高橋 義則 議員	(1) 高齢者世帯にエアコンを
18	佐々木昭雄 議員	(1) 特定地域づくり事業協同組合 (2) 学校に製氷機設置を

## 町政を問う

## 6人の議員が質問しました

●一般質問とは  
町政全般の執行状況をただ質し、施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。





さとう きよたか 議員  
佐藤 清隆



問

緊急銃猟のマニュアルは

答

関係各所と協議し整備へ

有害鳥獣に対し、これまで駆除と防除の両面を取り組んでまいりました。しかし、全国的な人的被害の増加を受け、9月1日より自治体の判断で「緊急銃猟」が可能となり、対応が求められています。

**問** 自治体の判断で、市街地での銃銃の使用が可能になり、安全性が求められています。町独自のマニュアル整備は行っていますか。

**答** 町長

環境省から発砲の判断や捕獲方法など、安全対策に関するガイドラインが公表され、地域に適した対応マニュアルの作成が推奨されました。関係各所と協議し早急に対応マニュアルを整備します。

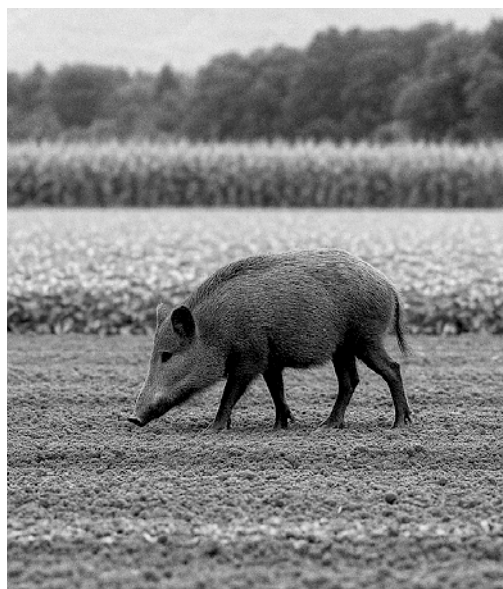
**問** 西日本では野生鳥獣を介してマダニが広がり、マダニが媒介する感染症で死亡する事例も出ています。注意喚起が必要だと考えますが。

**答** 町長

国の研究機関の発表では、全国で今年度の感染者が135人と過去最多ペースで増加し、死者は10人以上と発表されています。注意喚起のチラシを10月に全戸配布します。



▲身近にだけに注意を



▲民家の近くで目撃も

**問** 野生鳥獣を寄せ付けない対策として、柿や栗の木を伐採することが有効だと聞きました。周知すべきでは。

**答** 農林課長

柿や栗の木を伐採することは有効だと考えています。広報紙などで周知するほか、専門家による有害鳥獣に対する勉強会の開催なども含めて検討していきます。

**問** 増え続ける有害鳥獣に対し、継続的に駆除と防除を行っていく必要はありますか。

**答** 町長

今回の制度を安全に機能させるには、実施隊と町がしっかり連携する必要があります。また、専門職員を雇用していますが、拡充も含め検討していきます。

問

学校図書充実を

答

環境整備に努める

近年の全国学力調査で小学6年生、中学3年生の平均正答率が下落したのは、授業などで使用するデジタル機器への過度な依存が「気が散り」につながったとの分析が出ました。今こそ読書環境整備が重要と考えます。

**問** 学校図書室を中心とした読書教育のさらなる活性化と環境整備が不可欠です。紙の本に触れることによって得た読解力と、ICTを用いた情報活用能力を備えた子どもたちを育てるべきと思いますが、見解を伺います。

**答** 教育長

読書は豊かな人間性と想像力を育み、物事を深く考える基礎を養う大切な時間です。若年層が情報機器に多くの時間を割いているとの調査結果もあり、読書に親しむ経験をさせることは、教育の役割だと認識しています。

**問** 実態把握のため小中学校への訪問、そして先生方にアンケートを実施しました。先生方が図書室経営に苦労されているのがよく分かりました。今後、専従の司書を雇用する考えは。

**答** 教育長

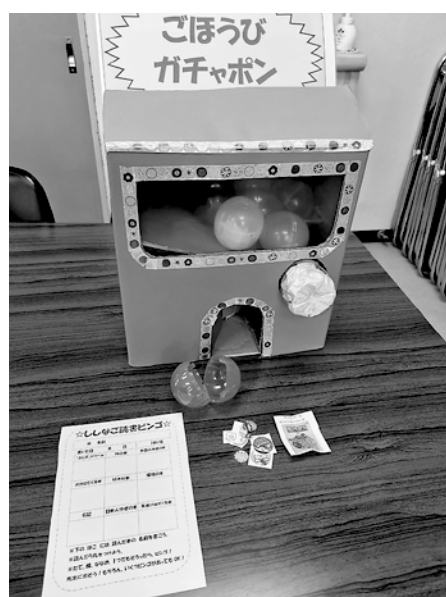
小中学校に配置されている司書の多くは市町村の採用であり、予算も必要です。改めて現場の声を聞く機会を設け、司書を配置する前に何ができるかを模索していきます。



▲想像力を育む読書



あさこ まえだ 議員  
前田 麻子



▲読書の楽しさを知る工夫

その他の質問事項

**問** Rウイルス感染症対策

**答** 必要な情報を広く周知

※Rウイルス感染症は2歳までにほぼすべての人が感染するとされ、乳幼児や高齢者、基礎疾患を抱える人は重症化するリスクが高く、予防対策が求められています。





かなめ 直正 議員  
まると 的場



## 問 一定の意見集約はできたが

## 答 場所は川崎中学校周辺

令和4年9月会議一般質問で、川崎町公共施設総合管理計画の質問をしました。全国的に高度成長期に建設された公共施設が一面に更新時期を迎えますが、まずは学校の建設を優先するよう提案しています。

**問** 検討委員会では一定の方向性は意見集約できていたと感じます。施設方針から半年が経過しましたが、現在の状況と検討委員会の再開についての考えは。

**問** 第4回検討委員会は10月頃の開催を想定しているということでした。今後の検討委員会のメンバーはどのようになっているのか伺います。

## 問 改めて日本地図の掲示を

## 答 早急に更新を図りたい

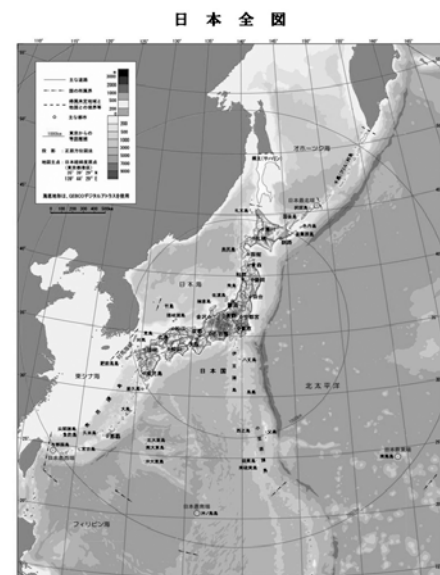
**答** 教育長

**問** 私たちがよく目にする日本地図は、沖縄が実際よりも北の本州寄りになっていると指摘がされています。また、児童生徒に正しい地図・歴史を認識してもらえよう、改めて正しい地図を教室に掲示する考えは。

令和元年9月会議で、日本地図の損耗が進んでいると指摘がありました。前回の更新から6年が経過し、地図の破損や色落ち等も見られることから、早急に更新を図りたいと考えます。



▲教育環境集約へ



▲正しい位置関係が分かる地図

## 問

## 高齢者世帯にエアコン助成を

## 答

## 制度設計を早急に

今年の夏は近年にない暑い日が続き、9月に入っても30℃を超える気温が続いています。扇風機だけの対応では熱中症の危険が高くなっています。

**問** この夏、熱中症で川崎病院に救急搬送された人数は。

**答** 町長  
今年の熱中症患者数は22人で、救急搬送者は10人です。患者の22人のうち60歳以上の方は10人で救急搬送者は4人です。



▲猛暑にはエアコンが必要です

**問** 今年の暑さでエアコンなしでの生活は厳しいと思います。効果的な対策はありますか。

**答** 町長

こまめに水分や塩分を補給する。濡れたタオルを肌にあて、うちわであおぐ。涼しい場所や冷房の効いた施設の利用が効果的です。

**問** 高齢者世帯の熱中症対策にエアコン設置の助成が必要だと考えますが。

**答** 町長

近年夏の猛暑によりエアコンを設置していない高齢者世帯の熱中症リスクが高まっており、エアコンの使用は欠かせません。助成事業の制度設計を早急に進め、4月にさかのぼり制度を導入したいと思っています。

**問** エアコン設置には本体代金や工事費のほか、アンペア数の変更やコンセントの増設など、多くの経費が掛かります。それらを含めて支援する考えは。

**答** 保健福祉課長

設置や配管に関する工事、電力増設など、費用がかかることは承知しています。情報を収集して検討します。

**問** 電気代が高くエアコンを使用しない方も多くいます。今回の助成に併せて電気代補助の考えは。

**答** 町長

エアコン設置の助成だけでも高いハードルであり、電気代の補助までは今のところできないと思っています。

**問** 今回の助成事業で設置する場合、地元業者に設置してもらいたいと思いますが。

**答** 町長

そのように考えていますが、地元業者だけで対応可能かどうか、意見交換していきます。



たかはし 高橋  
よしのり 義則 議員







さき あきお 議員  
佐々木 昭雄



## 問 学校に製氷機を

## 答 機器の選定進める

**問** 熱中症のリスク軽減として、迅速に体を冷やす手段の確保が重要だと考えます。各学校に業務用の製氷機を設置しては。

**答** 教育長  
全国的にも熱中症対策として冷水器やウォータークーラーの設置が進んでいます。翌年度以降の導入に向け、検討を進めます。

**問** 各学校の状況に合った運用しやすい機器の導入を検討すべきと考えますが。



▲熱中症予防のために

**答** 教育長  
各学校の人数や設置場所、運用方法を相談しながら、適切な機器の選定を進めます。

## 問 事業協同組合の検討を

## 答 機運を高める

「特定地域づくり事業協同組合※」の活用が全国的に注目を集めています。地域内の事業者が共同で人材を雇用し、季節や曜日ごとの業務を組み合わせて安定した就労機会を提供する仕組みです。

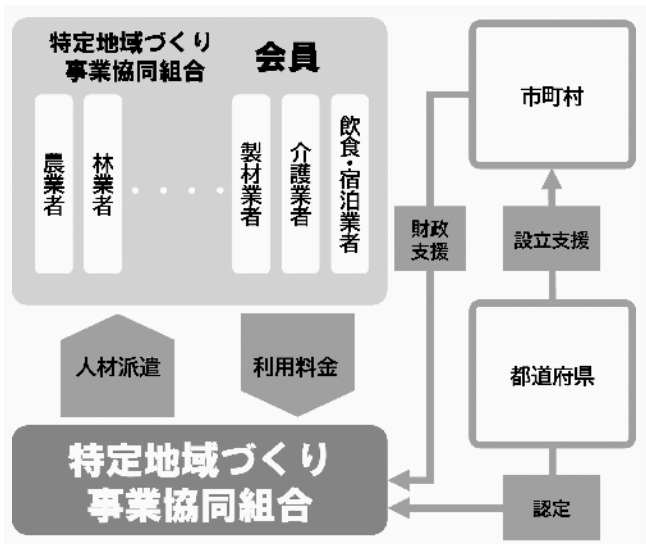
※特定地域づくり事業協同組合とは、地域の雇用創出と移住促進の両立する有効な手段として注目される労働者派遣事業で、東北地方では19件の導入事例がある。

**問** 他の自治体では導入に成功している事例もあります。組合の設立を検討しては。

**答** 町長  
この事業は地域の事業者が組合を作り雇用を創出する制度です。まずは、経営者が集まる機会などで周知し、機運の高まりを図りたいと考えます。

**問** 県内で唯一設立されている「気仙沼ジョイントワークス」は今年で3年目となり、移住者の雇用先として成功しています。このような組合への視察を検討すべきでは。

**答** 地域振興課長  
まずは、事業者へ周知を図り、必要に応じて勉強会や先進地視察なども検討していきたいと考えます。



▲1年を通じた労働環境整備へ

# ハラスメント無縁の議会へ

## 町村議会議員セミナー

8月4日、利府町文化交流センターで「議員活動に役立つハラスメント対策」をテーマに、議員セミナーが開かれました。参加議員の報告から一部を紹介します。

### 思いやりをもって

佐藤 昭光 議員

議員がハラスメントを自覚しているケースは無いといえます。そこで大切なことは、對話によって認識の違いを確認することです。感情をコントロールしながら、相手の人格や人権を損ねないよう配慮しつつ改善を求め、仕事に励んでもらわなければならぬ。お互いを尊重し合うことを忘れない必要性を改めて感じました。

### 3つの要素を学習

大本 治久 議員

ハラスメントの正しい認識と予防の重要性を学びました。パワーハラスメントの3要素「①優越的な関係を背景とした言動であり」「②業務上必要かつ相当な範囲を越え」「③その結果、当人の就業環境が害されること」について理解を深めました。周囲とハラスメント防止の意識を共有しながら、議員活動に努めたいと思います。

### 情動の制御が肝心

佐々木 昭雄 議員

自分の情動をコントロールする大切さを教えられました。ついカッとなったときも、笑う、深呼吸する、少し歩く、などの行動が効果的だといえます。また、自分を主語にする「Iメッセージ」の会話で相手に伝わりやすくなるなど、多くのことを学びました。この研修で学んだことは、議員活動や今後の人生でも生かしていきたいと思います。

### 感情のコントロール

佐藤 清隆 議員

現代では相手を持つての叱責などは注意が必要で、誰でも加害者になり得る危険性があるとのこと。自身自身の日頃からの言動を見つめ直すきっかけとなりました。

まずは意識改革と感情のコントロールに注意しながら、責任を持てる行動をしていく必要があると改めて気付かされた研修でした。

### 温かなふれあい

下斗米 麻子 議員

実際の事案を交えながらハラスメントの実態を学びました。特に「職務上の地位」とは何なのかということが印象に残りました。議員と職員には優越的な背景があるということは問題だと思いました。一人ひとりの人間として温かなふれあいのできているのか、自身に問いかけながら議員活動を頑張ろうと決意しました。





## 総務民生常任委員会

調査日 8月7日

## 防犯対策の取り組み

## 調査事項①

## 安全安心を感じられる環境

## 【委員会意見】

犯罪の発生を未然に防ぐには、さまざまな取り組みが必要で、特殊詐欺対策、電話機等購入補助金は、5000円を上限として購入費の2分の1を補助しています。令和5年度は15人、令和6年度は1月末現在で13人、合わせて13万9600円を交付しています。

でも、安全安心を感じられる生活環境整備を目的に検討しています。また、防犯情報発信はホームページや広報紙、公式LINEでの周知、併せて県警の防犯メール活用も勧めています。



▲防犯灯一体型カメラ

## 【検証結果】

町広報紙やシニア大等での情報発信により、特殊詐欺対策電話機購入補助金の申請件数も増加傾向にありま

す。また、同時に県警察本部の補助も併用できると周知してく

なる電柱設置を推進してください。今年度、公共施設以外に初めて防犯カメラ設置事業が開始されます。安全安心を感じられる環境が整ってきました。また、公共施設の保険も検討が必要であると考えますので、調査検討を行ってください。

## 地域活性化施設の現状

## 調査事項②

## 事業者に寄り添った対応を

## 【委員会意見】

施設管理は、点検マニュアルを基に建物・グラウンド等の敷地内の安全点検を行っていますが、事業者との確認作業も含めて徹底し

ていくことを望みます。また、施設の老朽化も進んでいることから、これまでの修繕箇所について事業者と情報を共有し、安全な管理体制がとれるよう努めています。

施設利用については、担当課・事業者・教育委員会との協議を進め、町内の子どもが利用しやすい環境をつくれるよう取り組んでくださ



▲施設の維持管理が課題

## 【検証結果】

地域活性化施設(5校)の入込数は、施設によつて違いはありますが、全体的には回復傾向にあると考えます。ただし、いまだ経営の厳しい事業者が多いのが現状ですので、事業者に寄り添った対応を望みます。また、多くの施設

で老朽化が進んでいます。点検で修繕指示があっても改善されないままで使用されている状況です。長期的な使用を望んでいる事業者と協議を重ねながら、どのような対策が適切なのか検討してください。

## 産業建設教育常任委員会

調査日 8月6日

## 町営住宅の現状

## 調査事項①

## 長寿命化計画の見直しを

## 【調査結果概要】

「川崎町公営住宅等長寿命化計画」に基づく建て替え事業が令和6年度に完了しました。第1期事業は北川原山住宅22戸、第2期事業は中原住宅8戸を実施

し、伊勢原住宅と中原住宅から入居者が移転しています。

令和元年度から実施している北原住宅屋根改修事業は、本年度で完了します。青根沼の平・青根厚生住宅は老朽化が進んでいるため、



▲計画的な住環境整備を

## 【委員会意見】

住宅の維持修繕状況は、主に北原住宅の屋根や水回りの修繕となつていきます。基礎や外壁等に傷みや劣化が見られるので、今後改修が必要になつてくると思われま

伊勢原住宅跡地は、役場にも近く敷地面積も広く確保できるので、跡地利用を検討してください。滞納している住宅使用料は、公平性確保の観点からも法的手段も検討し、改善を図ってください。

## 調査事項②

## こども園等の現状

## 包括的な支援切れ目なく

## 【調査結果概要】

かわさきこども園は、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ「幼保連携型認定こども園」として、教育・保育を融合的に展開しています。心身ともに健康な

子どもの育成と子育て家庭の支援には不可欠な施設となつてい

し心豊かに暮らせるよう、子育てへのサポートを展開しています。



▲未来を担う子どもたちのために

## 【委員会意見】

こども園などの各施設では、保護者の声に耳を傾け、一緒に考え、職員間での情報共有を図りながら、それぞれの役割、特性を生かした運営が展開されています。

です。園児が不安なく小学校へ入学し新しい生活が送れるよう、引き続き切れ目のない包括的な支援策を講じてください。そして移住を考えている方に向けても、こども園等の良質な環境をPRしてください。



## 町民参加の紙面

雲石町議会

佐藤 清隆 委員長

雲石町の広報紙は、町民参加型の記事が多く使われていて、ページごとにレイアウトやフォントを変えながらも、全体として統一感のある紙面となっていました。「町民に手に取ってもらう」ことを意識した丁寧な編集作業

業と読み手目線の企画シリーズ化によって、議会の動きが効果的に伝わっている点は大変参考になりました。

当議会でも、こうした工夫を取り入れながら、より伝わる広報づくりに生かしていきたいと考えます。



▲議会と町民がつながる

## 議会広聴・広報委員会

岩手県「雲石町」「金ケ崎町」に学ぶ

# もっと身近に、もっと伝わる広報へ

8月18・19日、全国コンクールで受賞歴のある岩手県雲石町議会と金ケ崎町議会を訪問し視察研修を行いました。ここでは各議員より提出された報告書の一部を紹介します。

## 20年連続受賞の底力

金ケ崎町議会

佐藤 昭光 委員

金ケ崎町議会だより 特に写真担当を一人で驚いたのは「全国コンクール20年連続受賞」という圧倒的な実績です。担当者が代わっても水準を保つ体制に、年季と強さを感じました。「良いものは積極的に取り入れる」という姿勢も徹底されていた。

配置している点は参考になりました。当町でもボランティアの協力がありますが、議員同士で撮影・共有できる体制も有効だと感じました。



▲表紙にこだわりを持って

# みなさんの「声も想いも」聴かせて

今回は、技術の伝承を目的に活動し設立から17年目を迎える『かわさき「技の匠」ぐるりもっけの会』の皆さまからご意見を伺いました。



▲多くの人々が来場するイベント

## 「ぐるりもっけの会」の課題

会員の高齢化が進んでいる。後継者不足や技術の継承が心配。

「未来の匠」の発掘に取り組んでいるが難航している。

若い人から興味・関心を持ってもらえるようなイベントの開催方法を模索している。

## これからのまちづくり 町や議会に望むこと

技の匠やぐるりもっけの会を知らない人も多いので、情報発信してほしい。

昔ながらの技術を継承する機会があれば。

移住定住しやすい町として、さらに受け入れ環境の整備を。

アクセスが良く自然環境も豊かな町として、もっとPRしてほしい。



左から宮城 加代子さん（青根）、菊地 重雄さん（前川西部）  
追木 今朝善さん（立野）

## ◆かわさき「技の匠」ぐるりもっけの会

平成20年3月に各分野において技の匠に卓越した人を選定し町長が認証したものです。現在の会員数は個人21名と4つの団体で活動しています。



今回いただいた貴重なご意見・ご要望は、町政へ反映できるよう尽力いたします。



# お知らせ

## 議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか。また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は12月2日(火)～5日(金)  
一般質問は12月3日(水)・4日(木)  
午前10時、再開の予定です。

## 議会ライブ中継 配信

(傍聴者は7月・8月・9月会議合計8人、  
ライブ中継は180アクセスでした。)

詳しくは、議会事務局まで

TEL(0224)84-2301

## 掲載写真を募集します

本紙の「町の風景」(裏表紙)に掲載する写真を町民の方より募集します。写真をご提供いただける方は、議会事務局までご連絡をお願いします。



※ご提供いただいた写真が必ず掲載となるものではありません。ご理解のうえでご提供願います。

※写真のタイトルは議会広聴・広報委員会で決定いたします。

## 町の風景



深まる秋 色づく木々

撮影場所:医療福祉センター東側 多目的広場

提供:議会広聴・広報委員会

## 表紙の説明「ゴールテープなびかせ」

「かわさきこども園運動会」にて

撮影 広報モニター 藤原 義信さん

## 議会映像配信



議会の様子が  
ご覧いただけます。



発行:川崎町議会  
編集:議会広聴・広報委員会

〒989-1592  
宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175番地1  
TEL(0224)84-2301・FAX84-6789  
E-mail:kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp

印刷:柳津田印刷